

指定管理者評価票

年度	令和3年度
担当部署	福祉部 子育て応援課 保育・幼稚園係

1 公の施設

施設名称	瑞穂町立石畑保育園		
所在地	東京都西多摩郡瑞穂町大字石畑1837番地		
施設概要	①敷地面積2,284.11㎡ ②建物面積791.635㎡ ③建物構造 鉄筋コンクリート造		
設置年月日及び経過年数（導入時）	平成10年4月設置、平成20年4月導入（導入後14年経過）		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	社会福祉法人武蔵村山育成会			
	所在地	東京都武蔵村山市大南一丁目33番地の3			
指定管理期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	選定方法	公募	利用料金制	導入
指定管理の業務内容	(1) 生活指導、保健衛生その他入園児の処遇に関する業務 (2) 施設、設備等の維持管理に関する業務 (3) 施設の衛生管理に関する業務 (4) その他町長が必要と認める業務				

3 施設の利用状況

利用状況（量）を示す指標名	単位	指定期間中の実績			
		令和2年度	令和3年度		
① 11時間開所（実施日数）	日	293	293		
② 延長保育（利用人数）	人	60	84		
③ 障害児保育（入所人数）	人	12	12		
④ 一時保育（利用人数）	人	620	133		
⑤ アレルギー対応給食（除去食等提供人数）	人	6	7		

4 指定管理者の収支状況

（単位：千円）

		令和2年度	令和3年度		
収入	指定管理料	238,927	238,766		
	利用料金収入	1,564	281		
	その他	8,963	13,014		
	計	249,454	252,061		
支出	支出	245,331	250,212		
	うち業務委託料	3,028	3,367		
	うち修繕費	315	305		
	うち人件費	189,055	197,011		

評価ランク	評価内容
良い 5	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
やや良い 4	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
普通 3	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
やや悪い 2	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
悪い 1	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

5 個別評価

評価項目		評価の着眼点	評価	
			管理者	担当課
業務評価指標	協定書・仕様書で示した事項	協定書・仕様書で示した事項が適切に履行されているか。 ・ 条例で示した開館日数と実開館日数は適切か など	5	5
	維持管理状態	維持管理の状態が適切か。など	5	5
インプット指標	行政資源投入量	指定管理料の増減の状況は。 指定管理料は適正か など	5	5
	職員投入及び物品提供の状況	職員投入及び物品提供の状況は。 ・ 町職員の関与や提供物資等は適切か など	5	5
アウトプット指標	利用者数の状況（事業の活動量、活動実績）	事業計画どおりの利用状況になっているか。 ・ 利用者は事業計画どおりか（環境の変化など外部要因考慮） など 利用者の満足度を得られているか。 ・ 職員の接客態度、利用条件等は適切か など	5	5
	施設の稼働状況（稼働日数・貸し出し日数）	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。 ・ 施設の設置目的を達成しているか など	5	5
	利用料収入の状況	事業計画どおりのサービスが提供されているか。 ・ 事業の計画、実施、成果は計画どおりか。 ・ 営業努力の状況は認められるか など	5	5
業務収支	収支のバランスが適切か。 ・ 経営状況は安定しているか など	5	5	
アウトカム指標	利用者の利便性の改善	利用者の利便性向上のため、どのような努力をおこなっているか。 ・ 利用者の意向反映について、適切に改善策が講じられているか など	5	5
	利用者の満足度の状況	モニタリング（利用者の満足度）はどのようなことをおこなっているか。など	5	5
	積極的な施設の活用	施設の活用や事業への創意工夫はどのようなことを行っているか。 など	4	4
遵法検査	遵法検査の状況	法定検査及び必要な検査並びに東京都や町の監査は適切におこなわれているか。など	5	5
総括	経費比較（前指定末と指定後における町支出の比較）	町職員の関与は適切か ・ 経費の状況は適正か。など	5	5

6 指定管理者自己評価、意見等（一年間に活動した内容等）

個別評価	数
5	12
4	1
3	0
2	0
1	0

記入欄	
<p>・令和3年度に施設長の交代があり、新しい組織でのスタートとなった。全職員が一丸となり理念実現のために協働し、5か年計画を推進した。</p> <p>・新型コロナウイルス予防と感染拡大防止策を町や関係機関、保護者と連携して講じ、発症事例が報告された際は、情報収集・情報分析・安全な保育環境の整備や保育体制の確保、対応についての情報発信等行いながら、保育事業を継続していった。また、個人情報や人権の尊重に十分に配慮した。</p> <p>・保育では一人一人の子どもの最善の利益を考慮し自己肯定感を高める保育を推進し、コロナ禍でも子どもたちの成長と安心して遊べる環境を保障していった。</p> <p>・保護者に保育園での日常を知る機会として、行事は3密を避けた実施（少人数での保育参観や懇談会、Zoom形式の個人面談や年度末懇談会）、保護者向けアプリで保育の様子や写真を送信する等、保護者の気持ちに寄り添った支援につなげていった。</p> <p>・災害への備えとしてBCPを改訂し、計画的に訓練を実施した。令和3年9月に発出された「瑞穂町保育所等の災害発生時における臨時休所のガイドライン」を保護者に周知及び説明をした。</p> <p>・保育中の事故防止や緊急対応策の徹底を図った。（コロナ禍でも救急救命講習への積極的な参加が認められ福生消防署署長より感謝状が贈呈された。）</p> <p>・地域に選ばれる保育園になるために、園内研修計画に基づき保育指針の理解等の研修や外部オンライン研修に参加し保育の質の向上につなげた。また、地域関係機関との連携を積極的に図った。</p> <p>・地域事業はコロナ禍で受け入れ人数の制限等を行いながらの実施となった。また、地域交流も感染拡大防止の観点から中止となるものもあったが、オンライン等を活用し5歳児と瑞穂第一小学校1年生との交流は実施できた。</p>	

7 担当課の評価、意見等

個別評価	数
5	12
4	1
3	0
2	0
1	0

記入欄	
<p>・コロナ禍の中、感染防止対策を行いながら行事等も開催でき、適切な保育の運営ができた。</p> <p>・定員以上の児童受け入れを行い、待機児童0を支援できた。</p> <p>・保護者との交流についても、オンラインや感染防止対策をしながら個人面談、懇談会、保育参観など幅広く行うことができた。</p> <p>・オンラインを活用する等、コロナ禍でも研修等による職員のスキルアップを積極的に図ることができた。</p> <p>・町主催で実施されている子育て講演会や、ファミリーサポートセンター提供会員養成講習会の講師として、職員を派遣してもらうなど、町の保育の質向上に貢献している。</p> <p>・地域交流については、オンラインを活用する等、コロナ禍でも行うことができた。</p> <p>・年間を通して園への苦情もなく、第三者委員への申し出もなかったことから、保育の質に対する満足度が高いことが伺える。</p>	

8 指定管理者選定委員会の評価、意見等

記入欄	
<p>【主な効果】 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら行事等を開催し、適切な保育の提供ができました。また、コロナ禍において、テレビ会議システムを活用して、園児の様子を保護者と情報共有しました。</p> <p>【主な指摘】 コロナ禍において、入園者が安全に過ごせるよう取り組んでいます。また、研修を実施し、職員の資質と保育の質が向上しており、年間を通じて園への苦情も寄せられませんでした。今後も適正な施設の運営を期待します。</p>	